

ぽれぽれ 通信

政策実現に
あらゆる手段を取る

9・10月号
vol.48



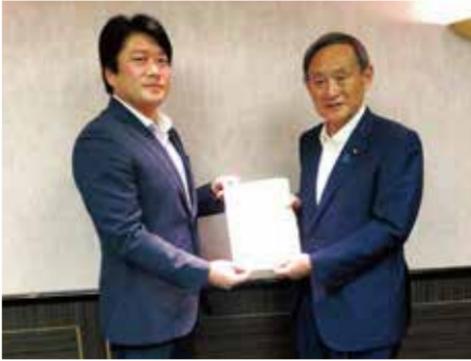
官邸別動隊は 実在するのか?!

**報道の自由は認めるが
憶測は報道ではない**

某新聞社の記者から「今朝の日経新聞はご覧になりましたか」と声を掛けられた山本は

「まだ読んでいませんが」と答えると「山本さん、官邸別動隊と書かれていますよ」と。国会事務所に戻った際に同紙を広げて見ると、「官邸別動隊」の役割?と大きく書いてあっ

た。良く読んでみると山本が自民党所属の国会議員の仲間たちと作ったワーキングチーム(WT)のことをそのような見方で捉えたものであった。国会の会期中、公務である衆議院の本会議、各委員会、また山本の場合は、一つの委員会の理事に任じられているので、理事会や理事懇談会などでの仕事があり、それに加えて、自民党での党務がある。山本は党政務調査会の国防部会の部長に任じられているので、部会の運営などの仕事が主にある。それ以外に、問題意識を持った政策に関しては、各種の議員連盟に属して、その問題意識に対応したり、新たな課題には議員連盟を設立したり、独自に勉強会やWTを立ち上げたり、政治家自身が抱いた政策課題を追求する政治



▲菅義偉官房長官に提出書を手交する山本

活動がある。党務や政治活動は国会の会期のような期限は無いが、国会開会中は、全ての国会議員が東京にいたので、様々な活動が活発になる。約半年間の通常国会の会期中に、山本は三つのWT「新たな在留資格WT」、「通信基盤WT」、「中小企業政策WT」を立ち上げた。それぞれのWTでは、議論だけでなく関係諸

団体をお招きし多角的なヒヤリングも実施し、外国人労働者の受け入れ拡大策、格安スマホの参入拡大、中小企業の支援策などの提言書をまとめ上げ、菅義偉官房長官に直接手交した。

確かに菅長官に面会し、提言書の内容を直接説明し、手渡しているのが、マスコミにはインパクトがあり「官邸別動隊」などと呼ぶほうが、その記事も衆目を集めやすいのである。現に山本にそのように記者から声が掛かったことを見ても狙いは当たったと見て良いだろう。ただ、はっきり断言できることは、決して「官邸別動隊」なるものが存在しているわけではない、と言うことだ。どうすれば社会的課題を解決できるのか、様々な方法を模索して、その道を切り

拓いていくことが大事であり、山本は仲間を募り、勉強や議論を重ね、導き出した結果を官邸に提言し、実現をさせるという一つの方法を考えたとに過ぎない。とは言え、それがあまりにも活発であるが故に報道に繋がったのであろう。

党での政策決定過程は極めて重要である

記事の中では、腑に落ちない点が多々あったので、ここで紹介する。「自民党の若手議員が首相官邸に直接、政策を提言する動きが広がっている。党政務調査会で議論決定するより、政策を実現しやすいと期待している」、「党で政策の実現をめざす場合、部会や調査会で議論して政調の了承を得るのが一般的だ。意見調整に時間がかかる。」などと記されていた

が、党より実現しやすいと期待をしているわけではない。実際、あらゆる事柄は、自民党の各部会で議論され、結論を得たものを政調会、総務会を経て機関決定し、それらは全て実現すると言っても過言ではないし、実際、実現してきた。意見調整に時間がかかるのは、確かであるが、それは、どの勉強会でもWTでも同じであり、むしろ与党である自民党は、絵空事をまとめるのではなく、実際に実現させることを議論しているのだから時間がかかるのは、仕方がない。逆説的に言えば、意見調整に時間をかけるからこそ実現可能なのである。

更に、この記事は最後に「自民党では、これまで衆院当選2回で政務官、3回で部会長、4回で副大臣、5回で閣僚という

相場観があった。(中略)部長の年次を高め、多くは副大臣経験者を任命している、いまは部会長14人で衆院議員は9人いるが当選3回以下はゼロだ。若手が部会長になりにくくなったことも官邸に直接訴える背景にはある。」と結んでいるのである。察しの良い読者ならお気付きだと思われるが、山本は、現在、当選4回で、指摘されている部会長に任命されており、官邸に直接訴える背景がない。そして、山本が部会長として党の政策決定過程を疎かにすることは断じてない。一つ一つ丁寧に議論を重ねることによってより良い政策を打ち出し、党内での了承を得られ政策実現が可能なのである。

しかし、山本が部会長であるのは、国防部会だけであり、他

の分野では直接的な権能はない。だからと言って、他の分野に問題意識を持っていないわけではない。例えば、休眠預金の活用に関しては議員連盟を設立し、議員立法を行うなど独自に政治活動を展開し政策実現を行ってきた。加えて、今回はWTを多数立ち上げ、政策実現の道を模索したのである。つまり、政策実現を行うには、いくつもの方法があり、どの道を行くのが正解ということはない。政治家本人が、いかにやる気があつて、本気で政策の実現を求めているのか、その原動力となる熱量の問題である。そして、社会的課題が解決できるのであれば、その場が、国会であろうと党であろうと、それが官邸であろうとも山本は与えられた職責を全うすべく前に進むだけである。



ぺんぺん特別秘書官の603運動紹介!

今回お伺いしたサークルは 「逗子ポケモン会議」の取り組み



第8回は、「逗子ポケモン会議」の取り組みを紹介するぞ。世界的人気を誇るポケットモンスターを題材にして誕生したスマートフォンアプリ「Pokémon GO」を楽しみながら健康になろう！というサークルだ。

Pokémon GOはGPS機能を使って現実世界そのものを舞台に楽しむアプリで、プレイヤーは実際に歩き回ることによってポケモンをゲットする。ゲーム内ではポケモンを集める、交換する、戦わせる、などの楽しみ方ができるぞ。逗子ポケモン会議は2016年10月から活動をしていて月1回、1回30分程の活動をしている。参加メンバーと共に逗子駅の周辺

を会が作成したマップを活用して散歩、探索をする。入会の費用はかからず、逗子市民でなくても参加可能だ。ただし保護者がいない場合、学生の参加はできないぞ。

入会するにあたって必要なものは、Pokémon GOが起動するスマートフォンのみ！これから始めてみたい…という人でもメンバーが丁寧に教えてくれるので気軽に参加できるぞ。興味がある人は下記の連絡先に問い合わせてくれ！

お子さんやお孫さんとの共通の話題や、ご自身の健康促進のために。みんなもポケモン、ゲットだけ！



お問い合わせ先

代表者 丸山 治章

連絡先 090-3570-4500

第25回参議院議員選挙 結果報告

神奈川県選挙区選挙 結果報告

	候補者名	順位	政党名	得票数
	島村 大	1	自由民主党	917,058
	牧山 ひろえ	2	立憲民主党	742,658
	佐々木 さやか	3	公明党	615,417
	松沢 しげふみ	4	日本維新の会	575,884
	あさか 由香	5	日本共産党	422,603
	乃木 涼介	6	国民民主党	126,672
	林 大祐	7	NHKから国民を守る党	79,208
	相原 りんこ	8	社会民主党	61,709
	森下 正勝	9	無所属	22,057
	いき 愛子	10	幸福実現党	21,755
	加藤 友行	11	安楽死制度を考える会	21,598
	榎本 たいし	12	オリーブの木	17,170
	澁谷 貢	13	無所属	11,185
	あくつ 孝行	14	労働の解放をめざす労働者党	8,514

有権者数 7,651,249 投票率 48.73%

「令和」となって初めての参議院選挙(7月4日公示、21日投票)が行われました。

神奈川県選挙区は定数4に対し14人が立候補する大激戦区でしたが、
 自民党公認・島村大候補、自民党推薦・佐々木さやか候補、ともに無事当選いたしました。
 ご支援、ご協力いただきました皆さま方には、心より御礼申し上げます。

アドレスは「ぽれぽれ」

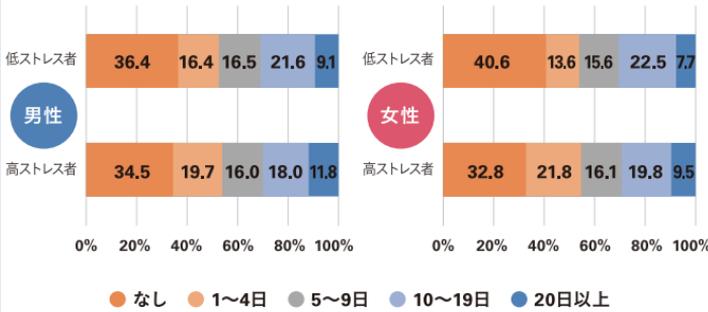
twitter、Facebookも本人がやっています
 皆様からのご質問やご意見、お待ちしております。



「休み上手」こそが低ストレスの秘訣？

山本もメンバーである「(一社)ストレスオフ・アライアンス」などの連携により全国14万人を対象にストレスに関する調査。今回は有給休暇取得日数とストレスの関係性に焦点を当てる。

有給休暇取得状況



出典：メディプラス研究所

今年4月より、年間10日以上
の有給休暇がある場合、会社
側が最低5日を取得させる
ことが義務付けられた。そこ
で、これまでの有給休暇取得
の実態とストレスの関係を
調査してみたところ、興味深
い結果となった。

公務員・会社員の男女を対象
に抽出・分析したデータをみ
ると、有給休暇の取得日数
は男女で大きな差はなく、
有給休暇を「1日も取って
いない／有給休暇がない」
が3割以上。さらに上記のよ
うに男女別、ストレス別で分
析すると、ストレスレベルが
低くなるほど有給休暇取得日
数が多いわけではないとい
うことがわかる。

低ストレス女性はストレスレ
ベルが低いにもかかわらず、
「1日も取っていない／有給
休暇がない」という回答が4
割で、女性全国平均よりも多
い傾向だ。つまり重要なのは
休みの日数ではなく、休みの
長さに合わせたストレスオフ
な行動ができていくかどうか
ということだ。今後、有給休
暇の取得が促進されること
で、さらなる「休み上手」がス
トレスの高低を左右していく
ことは間違いないだろう。

山本ともひろプロフィール

経歴

- 関西大学 商学部 卒業
- 京都大学 大学院 修士課程(法学)修了
- (財)松下政経塾 卒業 (21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選
- 平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任
- 平成29年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 平成29年 衆院選 4期目の当選
- 平成30年 自民党 国防部長 就任

自由民主党 衆議院議員 (4期 10年)

神奈川県鎌倉市・逗子市・葉山町

昭和50年(1975年)生まれ
44歳 鎌倉在住



分かりやすいと人気!

国会見学案内実施中!!

国会を山本ともひろと一緒に見学してみませんか?

「政治が身近に感じられた」「分かりやすく楽しかった!」と大好評。ご案内は無料で行っていますので、詳細は下記事務所にお気軽にお問合せ下さい。

ぽれぽれ通信って何?



「ぽれぽれ」は、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意。私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせたのがきっかけで政治家を志しました。

一度に全てを変えることは無理でも、諦めず、ゆっくりでも少しずつでも政治を変えていきたい。そうしなければこの国は良くならない…。そしてその活動を皆様にお伝えしていきたいという想いを込めて、この冊子を作っています。



山本ともひろ事務所リスト

本部事務所

神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F
TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943

国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室
TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623

令和1年(2019年)9月2日発行 第48号

【編集・発行】山本ともひろ後援会ぽれぽれ通信制作委員会 鎌倉市大船1-6-6 3F TEL 0467-39-6933 FAX 0467-39-6943

※本誌は、隔月(1、3、5、7、9、11月)発行の機関誌です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡ください。またHPにも掲載しておりますのでご覧ください。